

# 提 案 の 概 要

施設名：名古屋市中川生涯学習センター

団体名：ホームメックス株式会社名古屋支店

## (1) 管理運営全般について

### ①施設の管理運営に対する方針等

#### <基本方針>

- 来館される方が安心・安全・快適にご利用いただける空間づくりを行う。
- 学習活動の入り口として、興味関心を惹く多様な学びの機会を提供する。
- 効率的・効果的な運営で、民間ならではのサービスを提供する。
- 地域との連携により、魅力あるまちづくりや、まちの課題解消への貢献をする。

### ②管理運営体制

#### <組織・人員の配置・体制>

区分	人数
総括管理責任者	1人
副総括管理責任者	3人
従業員	8人

- 館長、副館長を引き続き4名体制にすることで、夜間含めて安心安全に運営できるよう配置する。
- 新規採用者は地元雇用を優先し、利用者の方へ明るく対応できる方の採用・定期的な研修を行う。

#### <人材育成方針>

- 会社や施設の方針を深く理解し、利用者を第一に考えられる人材の育成をする。
- 研修を通して、挨拶や身だしなみ、話し方等、サービス業として思いやりのある対応ができる人材を育成する。

#### <市民の平等利用に関する考え方>

- 地方自治法はじめ法令・条例を遵守した、透明性ある運営を行う。
- 自治体の代行者として、どの業務においてもすべての市民が同様のサービスを享受できるよう、機会均等で公正な運営を行う。
- 多様性を理解し、年齢やハンディキャップ、国籍などによる使いにくさを排除するように努め、ユニバーサルデザインに則り、利用者1人1人が快適に利用できる環境を目指す。

### <災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針>

- 対応マニュアルに基づき、常日頃訓練・教育を実施し、災害時・救急時の際は人命救護を最優先に迅速・的確な対応を行う。
- 災害時は必要な情報を館長に集め、管理し、現場の指揮を執ると共に、名古屋市や消防署・警察署等各関連機関と情報を共有し、迅速に連携する。
- 通常時より備蓄備品の管理、無線の点検を行い、名古屋市防災機関及び地域から避難所開設を求められた際は、利用できる場所を明らかにして総括管理責任者を中心に地域住民の支援・協力する。
- 負傷者の対応はもとより、家族・保護者への連絡も適切に誠意をもって行う。

### <施設修繕・保守点検計画>

- 「名古屋市アセットマネジメント推進プラン」の方針に沿って、施設の長寿命化と応急保全を基本方針とし、利用者の安全を守る施設管理を継続する。
- 点検表を用いて日常巡回点検や定期点検を行い、補修すべき箇所を早めに確認し、利用者の安全を最優先に必要性、優先度を考慮し適切に対応する。
- 利用者からの補修や改良の声も考慮し、計画的な修繕を行う。

## (2) 実施業務の計画について

### ①指定管理業務

#### <利用者意見の聴取・反映方法>

- 常時ご意見箱やメールフォーム、ヒアリング、ご利用表から意見を聴取する。その他にも利用者懇談会や利用者アンケート、自主事業アンケートなどでも様々な意見を運営に反映し、改善を図る。

#### <利用促進策（PR策）>

- センターまつりの活性化・充実化を図り、実行委員会や地元の方と共に連携をとりながら、普段利用されていない方にも、発表を見て活動を始めたいと思っていただける様なまつりにする。  
(例) キッチンカーの出店、ゲームコーナーの設置、新しい団体の発表等
- 図書館や他の生涯学習センター等、他施設とも連携を図り、新しい講座や人気事業を展開する。
- 夏季には熱中症対策として自由に水分補給が出来る様に、体育館入口にウォータージャグを設置する。また、野外活動時、講師の声が後方まで聞こえにくいというアンケートの声に対して、ワイヤレスイヤホンを導入して、講座の内容をしっかりと聞ける様にする。
- 今まで行っている「広報なごや」などの紙媒体での発信を引き続き行いつつ、より情報が伝わりやすいようHPのリニューアルを行い、幅広い層に情報が伝わる様にSNSの積極的な発信をする。またデジタルサイネージを導入し、その日の予約状況やイベント情報を誰もが見やすくする。

#### <地域連携・ボランティア連携>

- 役所をはじめ他施設や地域の各関連団体、ボランティアグループと信頼関係を築き、まつりやイベントの開催、事業の展開等で協力し合い、中川区の学習発展に繋がる連携と展開を図る。
- 区政推進会議やセンター懇談会、館長会等、各会議を通して区の方針を理解し、所管課などと意見交換やコミュニケーションをとって運営に反映する。

## ②自主事業（実施している場合）

### <自主事業の取り組み>

- 第4月曜日の開館、日曜・祝日の21時までの開館の継続。
- 2区分で5%、3区分で10%の連続使用時の連続利用割引制度の継続。
- 利用率の低かった美術室や料理室での自主事業講座の開催による活性化。
- 出張図書館等他施設との連携した事業の展開。

### (3) 収支計画について

#### ①管理運営にかかる費用等

##### <年度ごとの指定管理料の提案額>

(単位：千円)

区分	金額
令和5年度	34,985
令和6年度	34,985
令和7年度	35,073
令和8年度	34,985
令和9年度	34,985

##### <年度ごとの収支計画>

###### 【管理運営経費】

(単位：千円)

区分	金額
令和5年度	44,303
令和6年度	44,473
令和7年度	44,691
令和8年度	44,753
令和9年度	44,918

###### 【利用料金収入等】

(単位：千円)

区分	金額
令和5年度	9,263
令和6年度	9,430
令和7年度	9,558
令和8年度	9,706
令和9年度	9,868

###### 【自主事業からの充当額】

(単位：千円)

区分	金額
令和5年度	55
令和6年度	58
令和7年度	60
令和8年度	62
令和9年度	65

##### <経費削減の取組み>

- 当社が県内で管理している施設と一体的なマネジメントを図り、一括発注による単価コストの低減。
- スタッフのマルチポストにより、幅広い業務を1人で行える為、業務効率の高い人員体制が可能。
- 経験・ノウハウを活かした維持管理業務の自社施工化による間接経費の削減。